

七尾～邑知瀉～羽咋での既往微動観測結果

京都大学防災研究所 地震防災研究部門 強震動研究分野

本資料は当分野にて過去に実施した微動観測結果(既発表)を整理したものである。

微動観測の実施日

- 七尾 2013/12/19 及び 2014/11/14
- 邑知瀉 2013/12/24
- 羽咋 2013/12/18

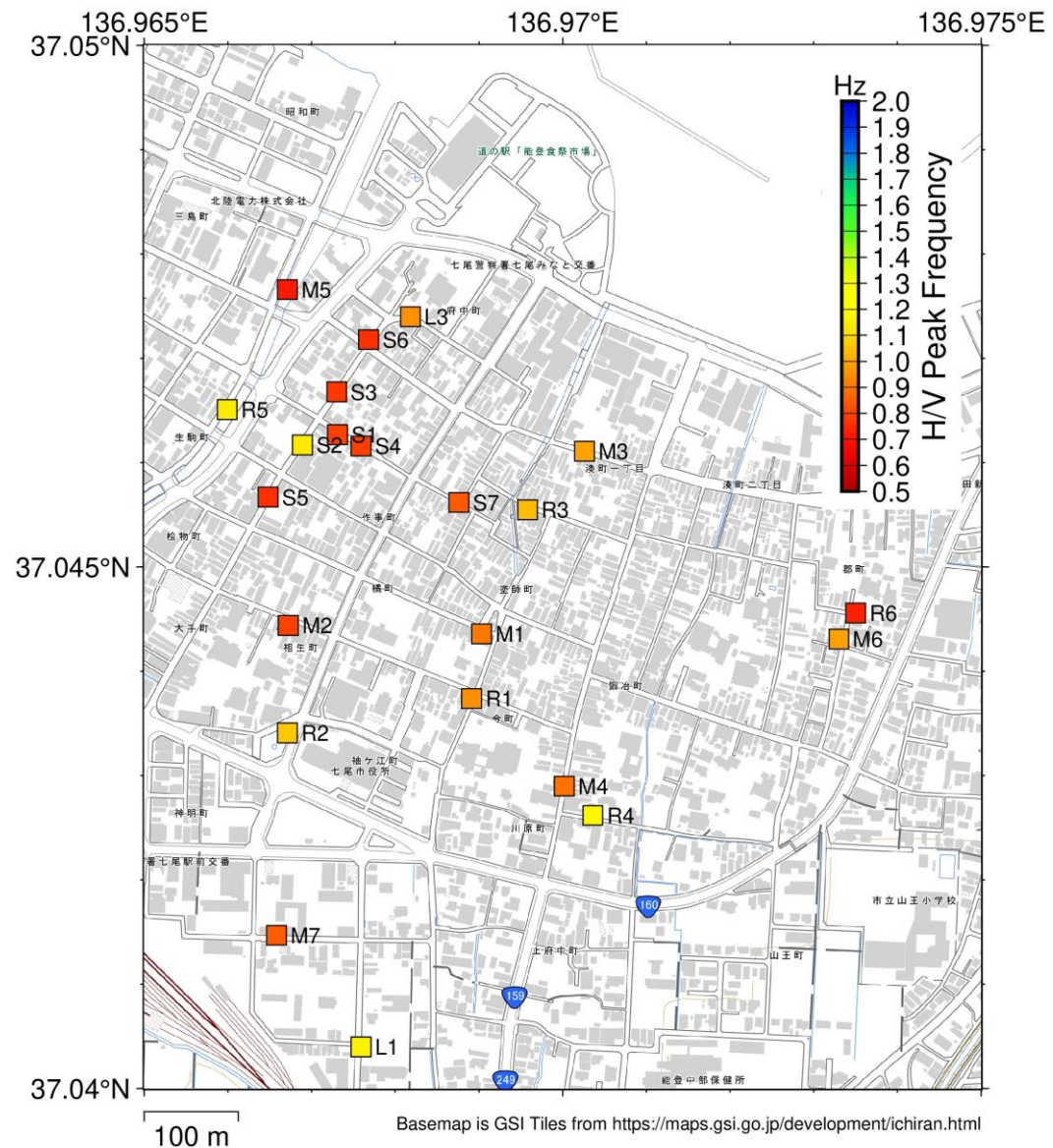
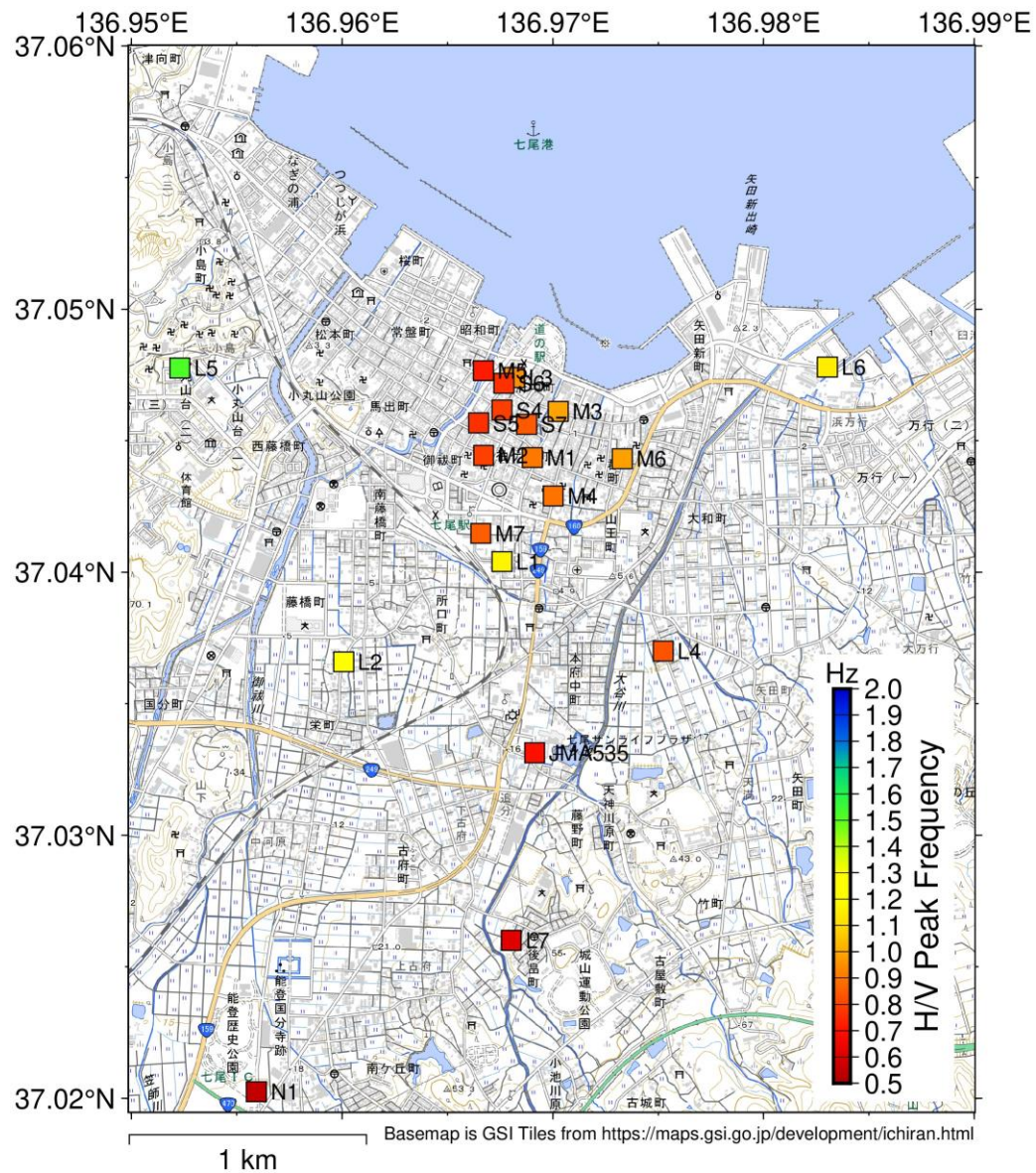
微動観測機材

- 地震計 LE-3D/5s (8 V/(cm/s))
- 収録装置 LS-8800

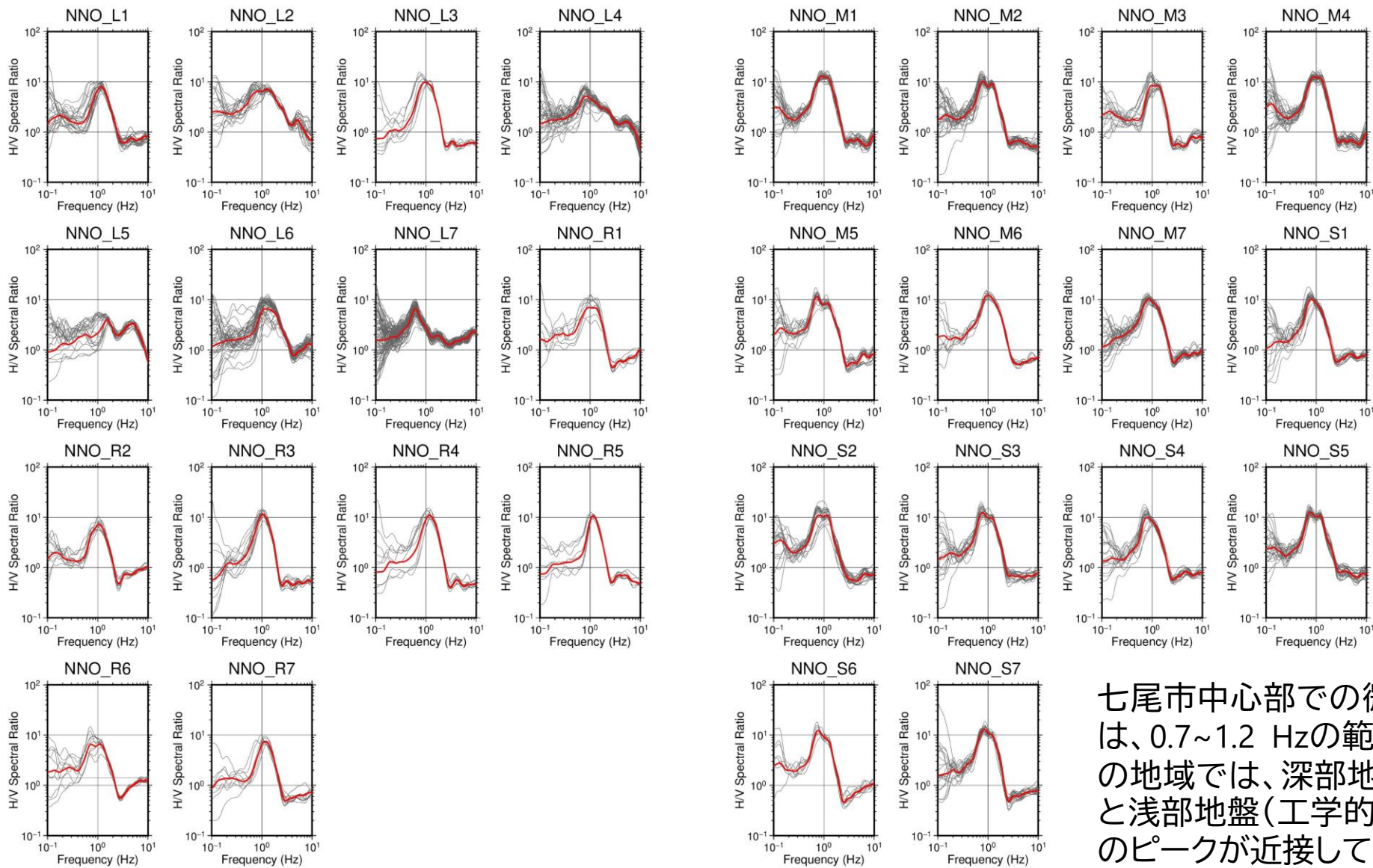
文献

- 浅野公之・岩田知孝・宮腰研・大堀道広 (2015) 微動アレイ観測と単点微動観測による加賀平野南部及び邑知瀉平野の堆積平野速度構造モデルの検討, 日本地震工学会論文集, 15(7), 194-204, https://doi.org/10.5610/jaee.15.7_194.
- Asano, K., K. Yoshida, K. Miyakoshi, M. Ohori, and T. Iwata (2020) Microtremor Surveys in Large Sedimentary Basins on the Coast of the Sea of Japan, [Proceedings of the 17th World Conference on Earthquake Engineering, paper no. 1f-0006](#).

七尾市内 微動観測点 (■の色はH/Vスペクトル比卓越周波数)

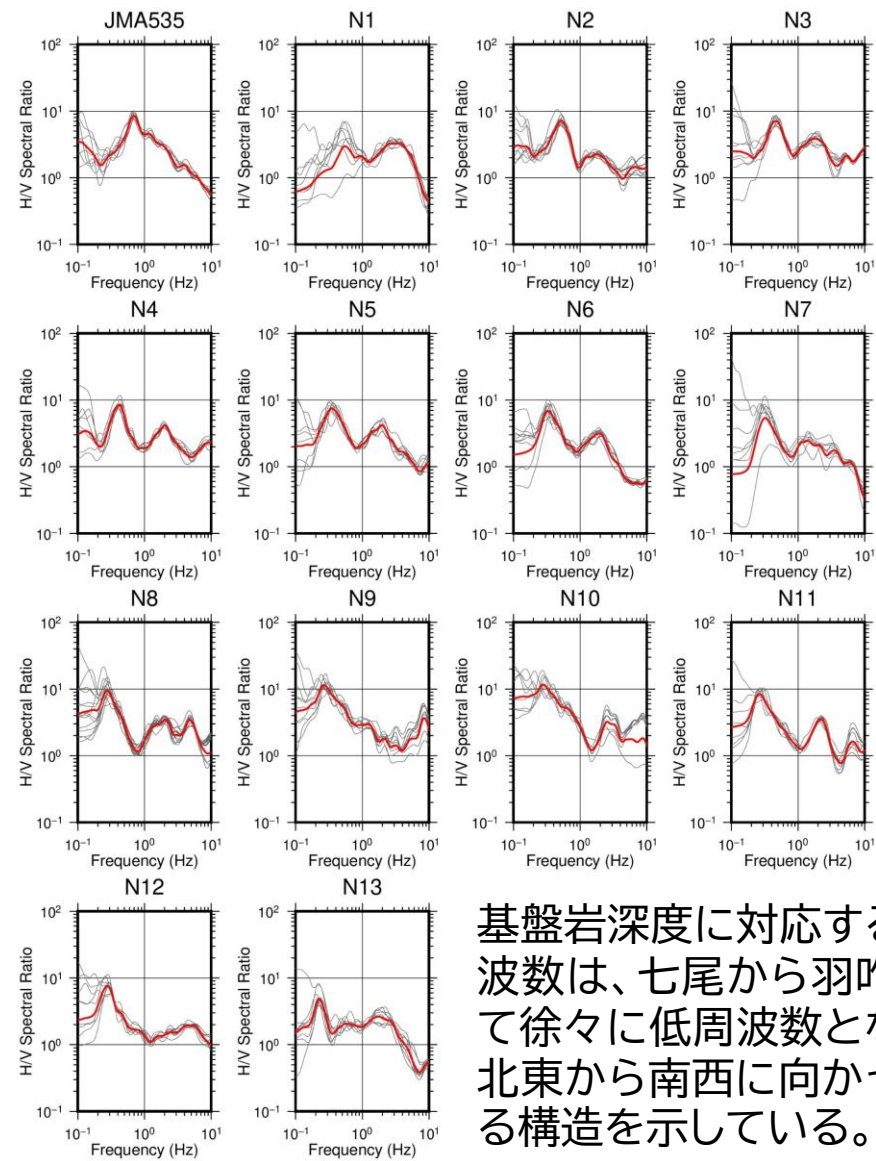
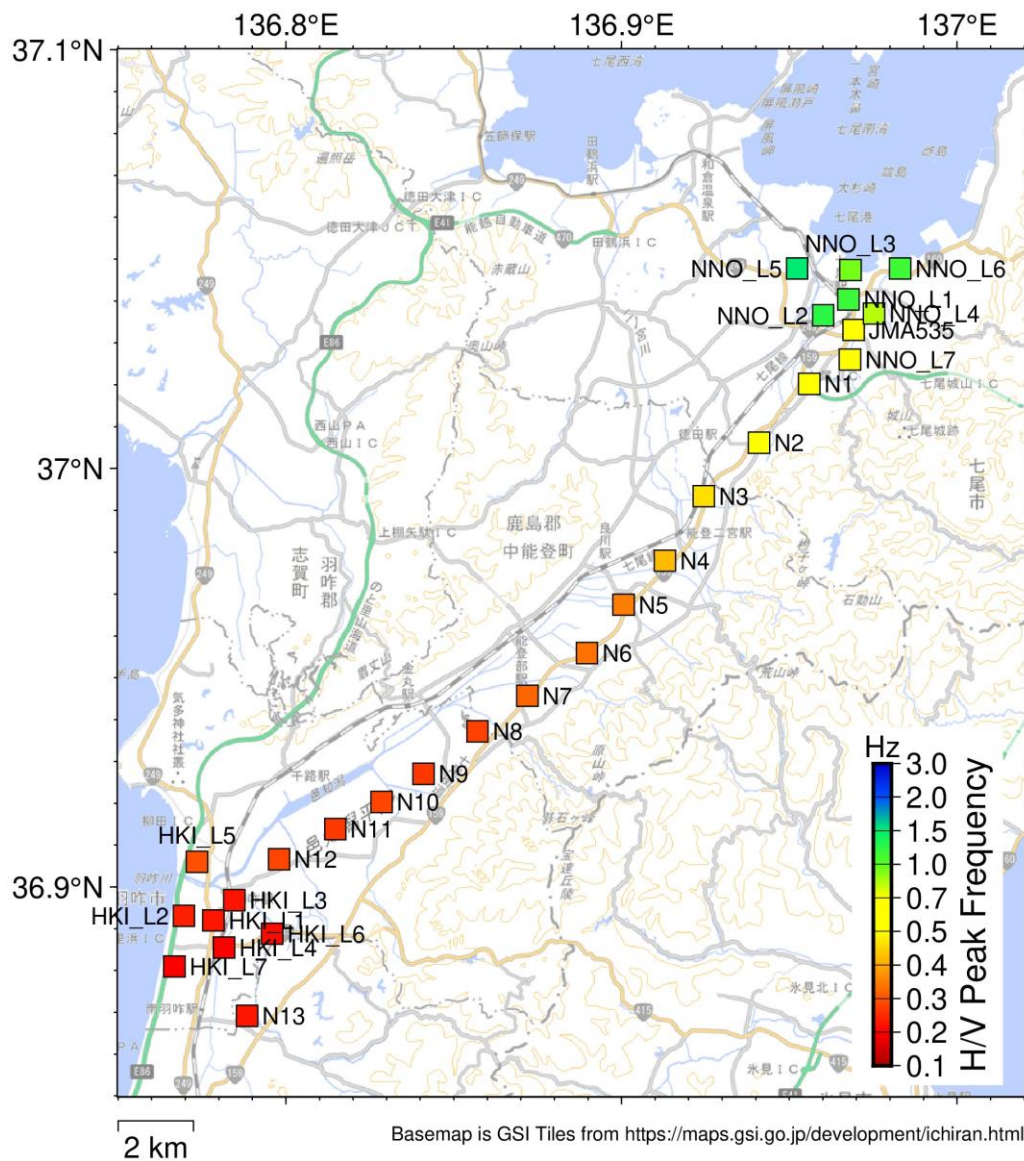


七尾市内 微動H/Vスペクトル比



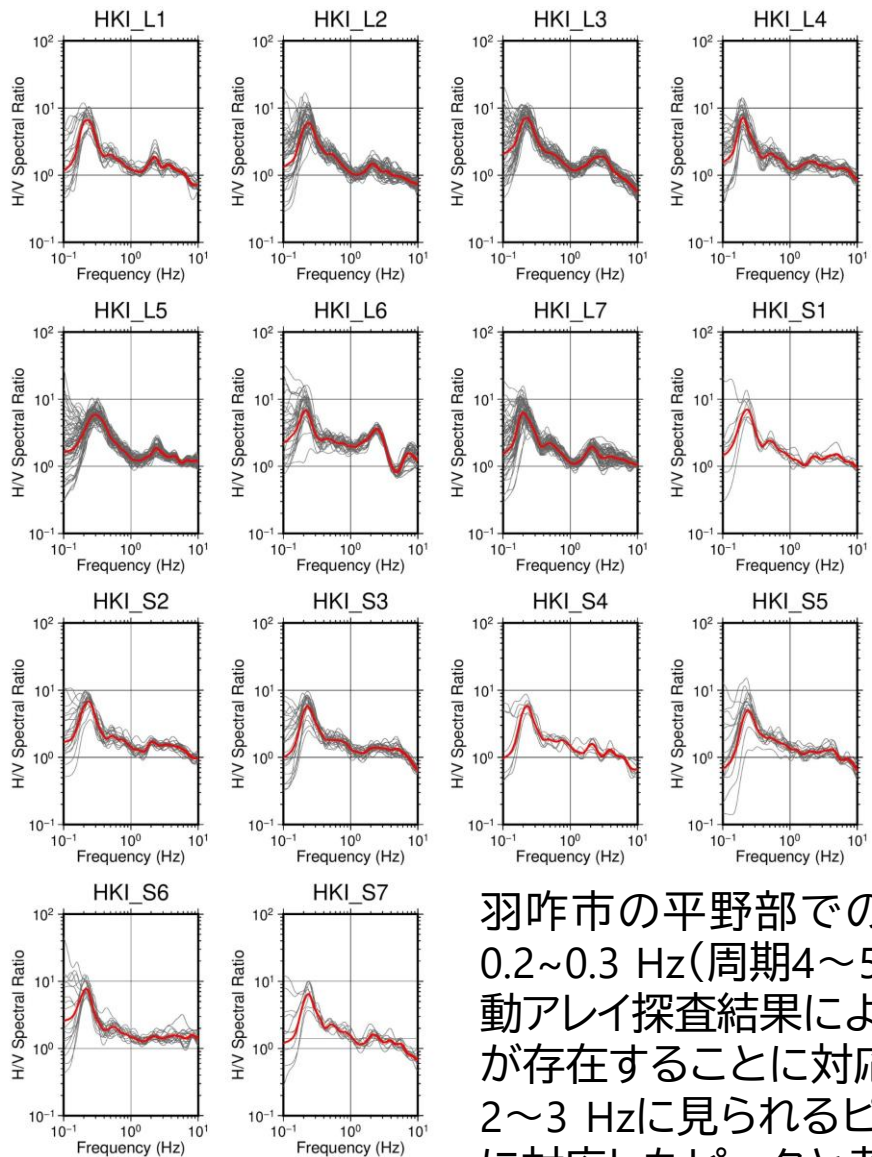
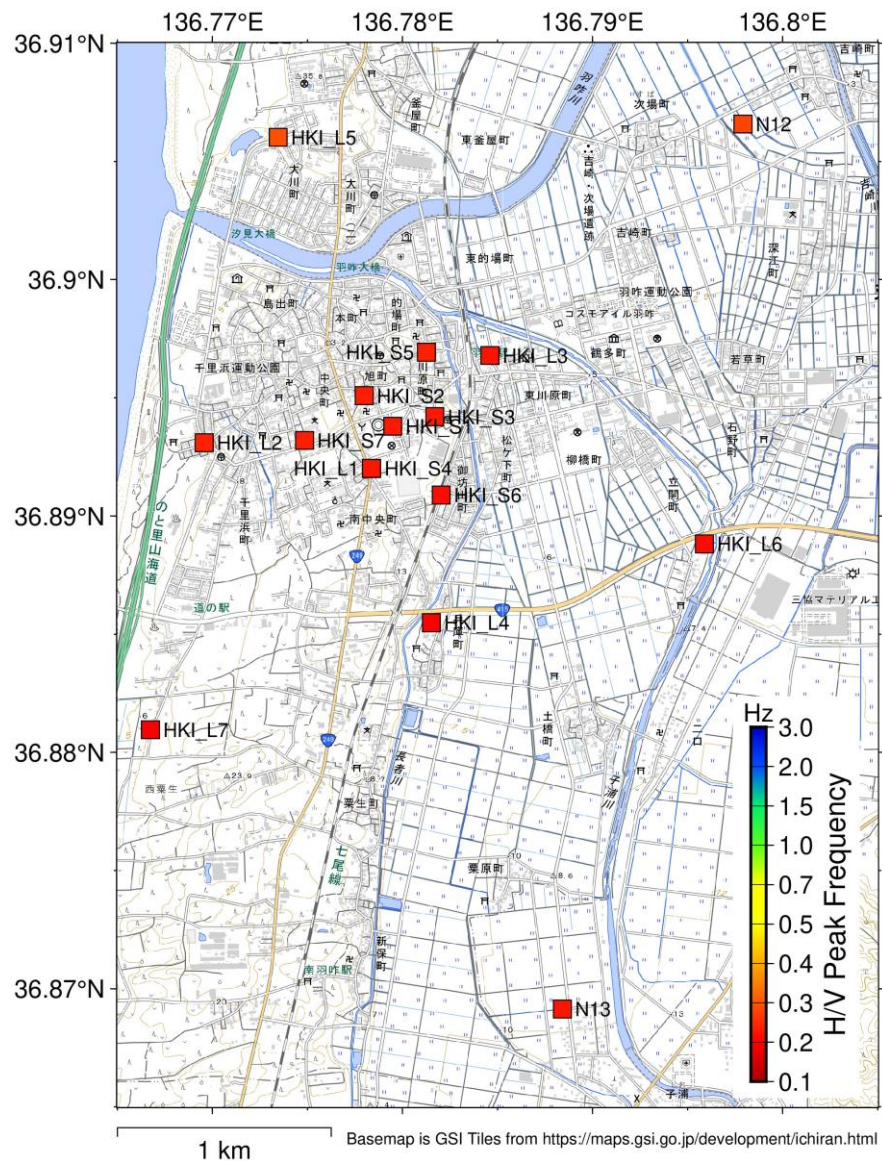
七尾市中心部での微動H/Vピーク周波数は、0.7~1.2 Hzの範囲に分布している。この地域では、深部地盤(基盤岩上面深度)と浅部地盤(工学的基盤)に対応するH/Vのピークが近接していると考えている。

邑知瀨平野 微動観測点及び微動H/Vスペクトル比



基盤岩深度に対応するピーク周波数は、七尾から羽咋に向かって徐々に低周波数となっており、北東から南西に向かって深くなる構造を示している。

羽咋市内 微動観測点及び微動H/Vスペクトル比



羽咋市の平野部での微動H/Vピーク周波数は0.2~0.3 Hz(周期4~5秒)であり、厚い堆積層(微動アレイ探査結果によれば基盤岩まで約2.4 km)が存在することに対応する。2~3 Hzに見られるピークは、工学的基盤の深さに対応したピークと考えられる。

七尾、羽咋、美川、小松 微動アレイ探査結果

アレイ半径一覧

七尾 NNO (2013/12/19, 2014/11/14)
R= 37m, 110 m, 200 m , 400 m

羽咋 HKI (2013/12/18)
R= 200 m, 400 m, 800 m, 1600 m

美川 MKH (2013/12/17)
R= 200 m, 400 m, 800 m, 1600 m

小松 KMT (2013/12/16)
R= 200 m, 400 m, 800 m, 1600 m

